

幌村建設株式会社

泉自治会に椅子を寄贈



3月20日、幌村建設株式会社（幌村司社長）から泉自治会（大宮仙司会長）に、生活館で使用する会議椅子10脚とバス待合所用の長椅子が寄贈されました。これは、昨年度、幌村建設が請け負った泉地区の工事の完了に合わせ寄贈されたもので、会長は「生活館で大切に使用してもらいます」と話していました。

新冠建設協会 ボランティア清掃を実施



4月4日、新冠建設協会に加盟する町内の建設会社20社が参加して、春のボランティア清掃が実施されました。当日は、雨が降るあいにくの天気となりましたが、参加した75名の会員の皆さんは、市街地のみならず、町内全域に分かれ、道路の清掃や排水溝回りのゴミ拾いなどの作業をしました。

恋するフォーチュンクッキー

新冠編上映会開催



4月5日、レ・コード館で、恋するフォーチュンクッキー新冠編の完成上映会が開かれました。完成した作品は、72団体、1133名が出演する大作となり、2曲分に収録されました。現在は、動画投稿サイトで「YouTube」で見ることができ、閲覧数は既に5000回を超えています。

シートベルトを着用しよう！ 交通安全運動「人の波作戦」



4月7日、レ・コード館前で、春の全国交通安全運動の一環として交通安全運動「人の波作戦」が行われ、町民約280名が参加しました。これは、交通安全推進協議会が中心となり、老人クラブや商工会、ライオンズクラブに参加呼び掛けたもので、沿道に集まった人々は、車が通過するたびに安全運転を呼び掛けていました。

ピーマンようかん・ ピーマンせんべい販売好調



この度、町特産のピーマンを使った「にいかっぷピーマンようかん」と「にいかっぷピーマンせんべい」が完成し、サラブレッドロード道の駅と新冠温泉で販売が開始され、人気を集めています。町では、3年前より六次産業を推進し、関係団体と連携をとりながら、ご当地グルメ検討委員会を設立、試作品の開発を重ね、独自商品の製造に取り組んできました。

ピーマンと和菓子という意外な組み合わせですが、想像以上に相性が良く、新しい新冠のお土産が誕生しました。

ま ち の 話 題

あれこれ

子ども園ド・レ・ミ フッ化物洗口の取り組み



4月21日、認定子ども園ド・レ・ミで、4・5歳児クラスの園児を対象としたフッ化物洗口が始まりました。この取り組みは、道内の中学1年生の虫歯の本数が、沖縄県に次いで2番目に多いという調査結果がある中、北海道と北海道教育委員会が、子どもたちの虫歯を少しでも減らそうと、道内の幼小中学校に積極的にフッ化物洗口を推進したもので、子ども園では、平成24年9月から実施しています。園では、今年度も保護者を対象としたフッ化物洗口の説明会を開き、希望調査をしたところ、対象となる児童の9割を超える園児が実施することにしました。

海馬澤クニ子さん

アイヌ文化普及活動に対し表彰



この度、本町の海馬澤クニ子さんが、永年に渡りアイヌ文化の伝承・復興活動に携わった功績が讃えられ、アイヌ文化普及活動実行委員会より表彰されました。海馬澤さんは、幼少期に覚えたウポポ（歌）やりセム（舞踊）を伝える伝承・指導者として活躍されたほか、大学などでの研究活動に協力し、数々の貴重な記録を残しました。

工事の安全を祈願して 日高食肉センター「地鎮祭」



4月20日、西泊津の日高食肉センター建設地で、センター建設工事の安全を祈願する地鎮祭が開かれ、関係者など約70名が参加しました。株日高食肉センターの村上純一代表取締役は「消費者の価値観が変化する中、生産処理加工、流通をグループで一元管理するための、要の施設となる。無事故無災害で進めたい」と挨拶しました。

新冠町交通安全推進委員会

反射材を使用したぬいぐるみを作成



この度、新冠町交通安全推進委員会（本間國男会長）は、夜行反射材を使用したぬいぐるみのキーホルダーを作成し、新冠・朝日両小学校で開かれた交通安全教室で、児童たちにプレゼントしました。同委員会では「かばんなどに付けると、人の存在を知ることができる」と話していました。絶対に交通事故に合わないよう「ほしい」と話していました。

子育て支援センター事業

親子料理教室開催



4月24日、認定子ども園内子育て支援センターで、5月の端午の節句を前に、「鯉のぼり型のいも餅」を作る料理教室が開かれ、10組の親子が参加しました。教室に参加した子どもたちは、袋に入ったじゃが芋を手でつぶしたり、魚に模様をつけた後、ホットプレートで焼きあげ、最後に全員で試食しました。